

茂林寺沼南岸用地利活用及び 湿原の現状と課題、防災対策について

櫻井 正廣 議員

質問 茂林寺沼南岸用地の
利活用について、平成27年
以降の進捗状況を伺います。

答 明確な方向性が示さ
れていない現状ですが、今
後も引き続き企画課を中心
に検討を進めてまいります。

質問 交流人口を増やして
いく考えについて伺います。

答 今後、東武トレジャ

ーガーデンなどと連携すると
ともに、『新日本歩く道紀行
100選』の認定コースをP
Rしながら、更なる交流人口
の増加を図ってまいります。

質問 新たな計画的ビジョ
ンを策定する考えは。

答 これまでの検討結果
を再度検証して、茂林寺エ
リアの観光振興に向けて一

不登校といじめ問題について

斉藤 貢一 議員

質問 全国的に不登校生徒
が増えてきており、24年前
に比べ3倍近くになってい
ると思いますが、当市では
どのような状況にあるのか。
また、中学卒業後の進路に
ついて、重大な影響を与
えてくると思われるが、こ
ういった生徒に市教育委員
会はどのように関わり、把

握しているのか伺います。

答 本市における不登校
生徒数は、平成28年度で69
名と増加傾向にあります。
中学校卒業までは学校を通
して不登校生徒の状況を把
握していますが、中学校卒
業後の状況について把握す
る機会はほとんどありません。
義務教育を卒業した生

徒はどのように関わり、把

握しているのか伺います。

層努力してまいります。

質問 茂林寺沼湿原の水が
足りない現状への対応策は。

答 湿原の湿潤化を図る
ため、西側に井戸を設置し、
くみ上げた地下水を表流水
として活用するとともに、
北側の側溝からの導水や、
茂林寺沼の流出口に堰を設
け、水位を確保しています。

質問 中央園路により東西
に分裂されている箇所を木
道の橋にして、湿原に水を
流す取組について伺います。

答 現在は仮設の木道を

徒に対する積極的な関わり
や対応が課題の一つである
と認識しており、社会生活
への適応に向けて、一人一
人に応じた段階的な支援が
できればと考えております。

質問 子どもの医療費助成
制度において、入院に関し
ては、邑楽郡内5町が18歳
の年度末まで無料なのに対
して、当市は15歳までとな
っています。同じ医療圏の
中で、子育て環境に極端な
差が出てしまうことについ
ての考えを伺います。

答 合併協議中ではあり
ますが、影響や効果などに
ついて、十分に検討しなけ
ればならない課題と認識し
ております。

質問 「いじめ」について
の解釈は変遷し、「学校関
係者」によるものが除外さ
れたと思います。しかし、
教職員による「言葉の暴力」
により、不登校あるいはい
じめに発展する事例が増え
ていますが、当市の認識と
対処方法について伺います。

答 暴言は体罰にあたる

設置してはいますが、今後は
木道化も含め、関係者や群
馬県教育委員会とも協議し
ながら研究してまいります。

質問 広域防災拠点や研修等
の対象の防災訓練や研修等
の場として活用する考えは。

答 現在、住民等が防火・
防災・救命に関する研修や
訓練を実施するのに必要な
施設及び子ども達等の施設
見学スペースなどの設計を
進めていると伺っておりま
す。一つでも学習体験でき
る施設が備わるよう消防組

合に相談してまいります。

質問 市内18箇所にある消
防団詰所の乾燥棟に防災行
政無線用の野外スピーカー
を設置して、災害時等に注
意喚起を行う考えは。

答 既存の柱を利用する
ことで経費の節減にもつな
がりますが、防災ラジオと
併せて研究してまいります。

要望 今後は、子ども達を
対象とした防災教育も必要
と考えます。広域防災拠点
における有意義な活用方法
をお願いします。

ものではないと認識します
が、児童生徒の健全な成長
と人格の形成を阻害し、い
じめを助長することもある
ため、厳に慎むべきものと
考えます。また、服務規律
の注意喚起や、指導主事や
校長等による授業参観を行
い、防止に努めております。

要望 市教育委員会として、
様々な要因で社会生活に適
応できない子どもたちに対
し、卒業後も支援するとも
に、具体的なアプローチ対策
を確立していただきたい。

合に相談してまいります。